

行政評価(施策評価シート)

1 基本項目

基本目標3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策1	ともにつくる住みよい地域社会の実現
施策17	基地対策
基本方針	
横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国及び米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行っていきます。	

2 施策を構成する平成28年度事務事業の実施・評価結果

No	事業名	平成28年度実施結果			評価(所管課長)				指標に係る重点事務事業
		決算/円	予算執行率	進捗状況	妥当性(必要性)	効率性(手法)	有効性(成果)	方向性	
1	横田基地に起因する諸問題についての国及び米軍等への要請	50,000	82.0%	計画どおり完了	○	○	○	A	
2	特定防衛施設周辺対策事業の充実要請	55,344	52.2%	計画どおり完了	○	○	○	A	
3	航空機騒音、航空機飛行高度などに関する測定	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	

3 施策評価

① 施策の評価

横田基地に起因する航空機騒音などの課題の解決に向けて、横田基地周辺自治体と連携して、市民の安全確保、航空機騒音等の軽減、米軍機の飛行高度測定の実施などについて、国や米軍に対して求めてきた。

横田基地においては、過去には米軍機による事故、米軍人等による不祥事などが発生しているほか、航空機による低空飛行に加え、頻繁に人員降下訓練が実施されており、騒音などに伴う市民生活への影響が依然として存在していることから、横田基地に起因する諸問題の解決に向け、適時適切に対応していく必要がある。

② 今後の方向性(改善への取組み等)

横田基地の整理・縮小・返還に向け、市民生活の安全・安心を守ることや、国の交付金などの拡充について、国や米軍に対する要請等に取り組むほか、横田基地に関する迅速な情報提供と地元住民に対する説明を国や米軍に求めるとともに、市としても広報はむらや市公式サイトなどを活用した市民への情報提供に努めていく。

平成28年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
1	横田基地に起因する諸問題についての国及び米軍等への要請	昭和 58 年	継続	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	事業番号	1	

2.事業の概要

事業内容	航空機騒音や事故など、横田基地に起因する諸問題について、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会や横田基地周辺市町基地対策連絡会等を通じ、国及び米軍等に要請するとともに、横田基地に関する情報の提供や説明を国等に求め、市公式サイト・広報紙を通じた市民への情報提供に努めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成27年度(現況)	3か年計画		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業内容 事業量等	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会などを通じた安全確保・騒音防止等を含めた横田基地の整理・縮小・返還要請の実施	同左	同左	同左
	国等へ情報提供を要請	同左	同左	同左
	広報紙、市公式サイト等を活用した情報提供	同左	同左	同左

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	250 H	2人	250 H	2人	450 H	2人	250 H
主事・主任職	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	60	61	61	61
人件費(係長職)	2,520	2,488	4,478	2,488
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	2,580	2,549	4,539	2,549
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,580	2,549	4,539	2,549
財源内訳(合計)	2,580	2,549	4,539	2,549

③コスト計算

ア 市民	56,281	人における1人あたりのコストは、	45	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の 出来高		円

※ 対象者:

Do(実行) 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会や、横田基地周辺市町基地対策連絡会において、米軍や国に対し、安全確保・騒音防止等に関する要請等を実施した。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	61,000	0	61,000	50,000	82.0%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
平成27年度の航空機騒音に関する苦情件数は、28件となっており、平成26年度に比べて若干増加する結果となった。	平成28年度の航空機騒音に関する苦情件数は、17件となっており、平成27年度に比べて減少する結果となった。

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		今後の方向性								
<p style="text-align: center;">高 [妥当性・有効性]</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 → [効率性]</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低</td> </tr> </table>		B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 → [効率性]		↓		低		A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当									
← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 → [効率性]										
↓										
低										

Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)
米軍機に起因する航空機騒音の増大やそれに伴う環境への負荷などに対しては、市民生活の安心と安全を守る視点から、引き続き、横田基地周辺市町と連携を図りながら、国や米軍に対する要請等に取り組んでいく。

平成28年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2	特定防衛施設周辺対策事業の充実要請	不明	年 其他	自治事務(市独自)	直営	
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17	基地対策	事業番号 2

2.事業の概要

事業内容	公共施設の整備等に向けた防衛補助の拡充について、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会などを通じた国への要請や、防衛補助の採択に向けた交渉に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成27年度(現況)	3か年計画		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業内容 事業量等	国へ防衛補助等の拡充を要請 平成28年度補助採択案件 ・動物公園改修事業 ・スイミングセンター改修事業	同左	同左	同左

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	110 H	1人	110 H	1人	110 H	1人	110 H
主事・主任職	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	105	106	106	106
人件費(係長職)	555	548	548	548
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	660	654	654	654
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	660	654	654	654
財源内訳(合計)	660	654	654	654

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行) 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地に起因する航空機騒音等の問題解決のため、その障害の緩和に資する生活環境施設等の整備費用を国庫補助対象とすべく交渉を進めた。
 28年度は、調整交付金案件として、羽村駅自由通路拡幅等整備事業基金の造成を行い、民生安定施設助成案件の平成28年度事業として、羽村市スイミングセンター整備事業及び羽村市動物公園整備事業(設計)を実施した。また、平成29年度事業として羽村市消防団第三分団消防車両購入事業の採択を受けている。再編交付金案件として、平成28年度は羽村西小学校と保健センターの空調工事を行うとともに、この工事費用に充当するため、健康で安心して暮らせるまちづくり基金への造成を行った。

②投入実績

決算の内訳 (単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	106,000	0	106,000	55,344	52.2%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
採択された事業については、交付申請等の手続きを行い、補助金の交付決定に至った。平成28年度事業についても、補助採択を受けることができた。	採択された事業については、交付申請等の手続きを行い、補助金の交付決定に至った。平成29年度事業についても、補助採択を受けることができた。

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check(評価)

◎…適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○…適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性												
<table border="1"> <tr> <td>↑</td> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>←</td> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> <td></td> </tr> </table>	↑	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	↓	←	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		→		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討			高 [効率性]	A
↑	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	↓											
←	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		→											
	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討													
	低													

Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)
公共施設等の老朽化に伴う施設・設備の更新、民有地の借用や羽村市土地開発公社所有地への対応にあたっては、財源の獲得が必要であることから、それぞれの補助メニューに沿った内容で事業立案を行い、積極的な財源の獲得に努めるとともに、地元自治体のニーズに沿った形で補助メニューが形成されるよう防衛省に必要な見直しを求める要請を行っていく。

平成28年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部		企画政策課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
3	航空機騒音、航空機飛行高度などに関する測定	昭和 58 年	継続	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課	環境保全課					
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	事業番号	4	

2.事業の概要

事業内容	横田基地に関係する航空機の騒音を測定するとともに、飛行高度の測定を行うよう国に要請します。				
根拠法令					
条例					
要綱等					

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。				
------	-----------------------------	--	--	--	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成27年度(現況)	3か年計画		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業内容 事業量等	航空機の騒音測定 2か所 航空機の飛行高度に関する調査研究 高度測定を実施するよう国に要請	同左 2か所 機器更新の検討 同左	同左 2か所 機器更新の検討 同左	同左 2か所 同左

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	0	0	5,800	0
人件費(係長職)	252	249	249	249
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	252	249	6,049	249
国庫支出金	0	0	4,600	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	252	249	1,449	249
財源内訳(合計)	252	249	6,049	249

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

米軍機の運用における飛行高度において、日米合同委員会合意事項が遵守されているかどうかを把握するための調査を実施するよう、国に対して要請を行った。また、飛来するオスプレイの低周波音の調査についても国に対する総合要請に盛り込んだ。

- 総合要請(横田基地に関する東京都と周辺市町基地対策連絡協議会)
- 防衛施設周辺整備対策に関する個別要望(防衛施設周辺整備全国協議会)(対 国)
- 平成28年度関係政府機関に対する要望(東京都)(対 国)
- 平成29年度東京都予算編成に対する要望(東京都市長会)

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
市は、日米合同委員会の合意事項が遵守されているかどうかを判断する立場にないため、国の責任において、遵守されているかどうかの確認を行うよう要請を行った。	市は、日米合同委員会の合意事項が遵守されているかどうかを判断する立場にないため、国の責任において、遵守されているかどうかの確認を行うよう要請を行った。 また、平成28年度の総合要請において、オスプレイに関する低周波音の調査について、国の責任において必要な対策を講じるよう国に対し要請した。

②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

- ◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの
- ・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高 [効率性]	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当							
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討								
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討								
低	低							

Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)
米軍機に起因する航空機騒音の軽減やそれに伴う環境負荷の軽減を求めるとや、市民からの問合せが多い米軍機の飛行高度について、国の責任において検証することなどを、引き続き、国に対し要請していく。 また、各種団体等からオスプレイに関する低周波音についての問合せも寄せられていることから、低周波音についても国の責任において必要な対策を講じるよう求めていく。